

令和7年度（琵琶湖漕艇場主催）
ローイング・カヌー団体等代表者
『安全対策会議』

琵琶湖漕艇場および瀬田川での順守事項

本日、お伝えしたいこと

- ① 「琵琶湖漕艇場」の役割
- ② 今シーズンを振り返って
- ③ コース内・瀬田川の遵守事項
- ④ 施設利用上の注意点について



■ 琵琶湖漕艇場の役割

- ① 「公の施設の指定管理者」として
 - ・ 県民の福祉の増進を目的として設立された「公の施設」の役割を最大限に発揮
 - ・ 県民の心身の健全な発達とスポーツの普及振興
ローイングやカヌー、ドラゴンボートなど“湖上”スポーツの普及振興
- ② 「日本ローイング協会 B 級公認コース」の管理者として
- ③ 安全に関する各種の情報発信や、関係機関・関係団体との連絡調整

競技者・愛好者・生活者が
『集い』『認め合う』水域づくりを皆さんと共に



■今シーズンを振り返って

- 滋賀国スポを終えて
- 渇水への対応
- 天候
- 接触事故等の傾向



■今シーズンを振り返って

滋賀国スポを終えて

第79回国民スポーツ大会「滋賀国スポ」

4大会ぶりの開催県総合優勝！

支えていただいた皆様ありがとうございました。

《ローイング競技》

滋賀県 3位入賞 ・ 京都府 5位入賞

《カヌー競技》

滋賀県 優勝 ・ 京都府 18位

《滋賀国スポ参加者数》

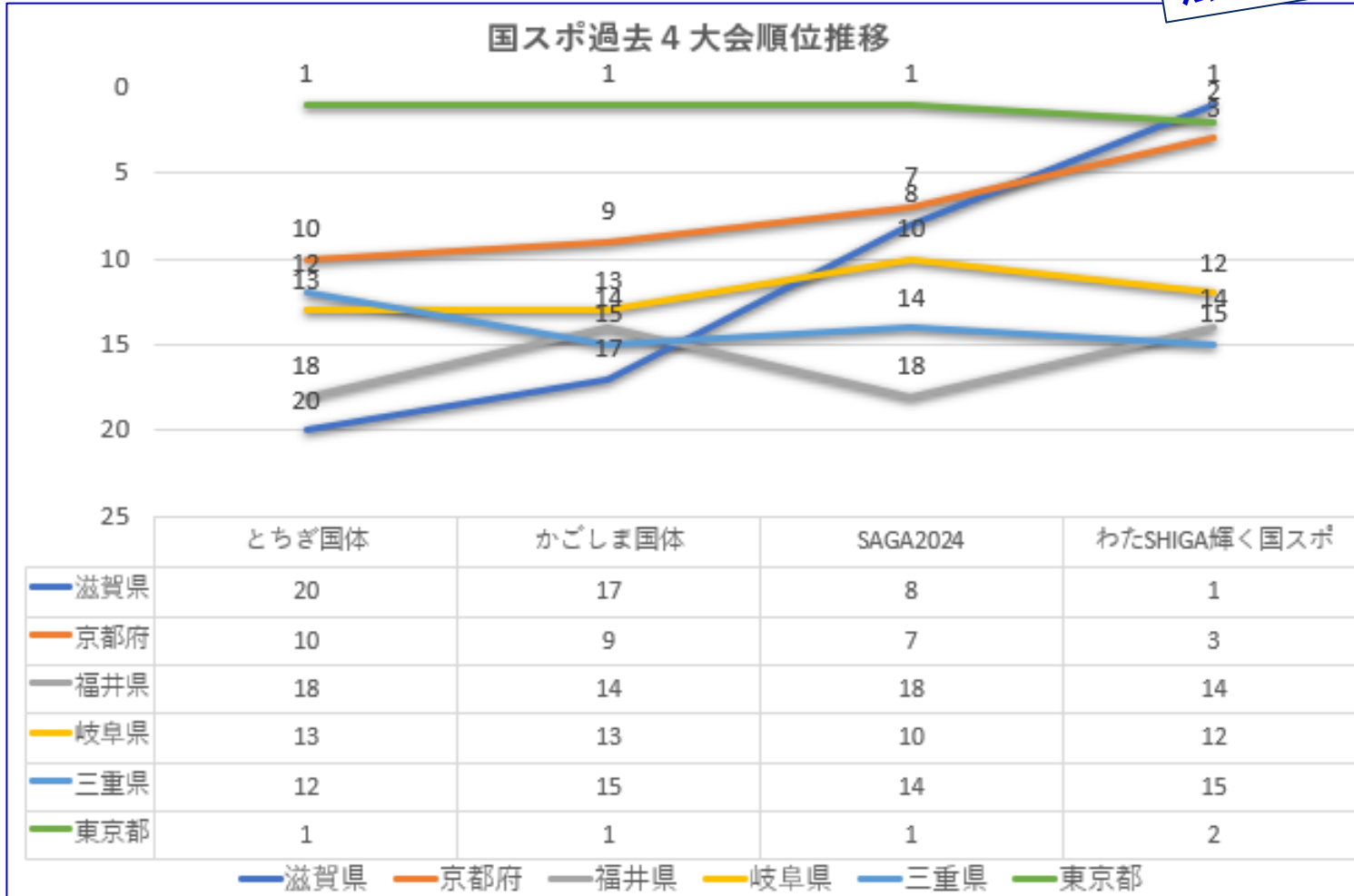
総数 604,215人



■今シーズンを振り返って

開催県と滋賀県隣接の府県成績

滋賀県・京都府選手団 大躍進！



■今シーズンを振り返って

滋賀国スポを振り返って

会場整備にご支援いただいた企業・団体

(株)中村組 様

見通し板の再塗装 ・ コース犬走の土砂撤去

※土砂撤去には瀬田中・北中ボート部の皆さんにも参加頂きました

淡海を守る釣り人の会 様

国スポ開催記念 おもてなし清掃活動



■今シーズンを振り返って

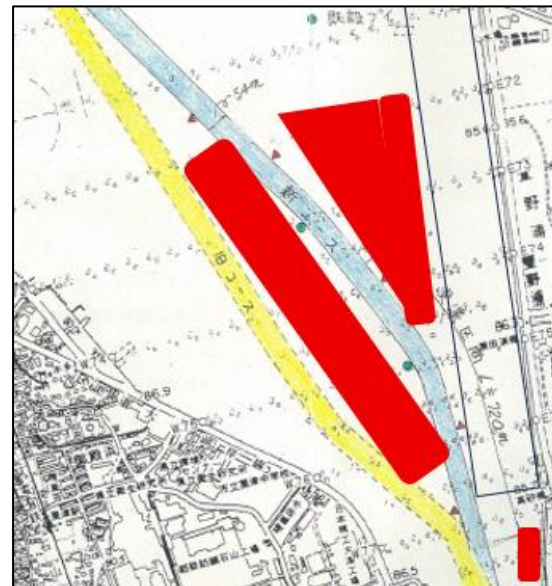
渇水への対応

☆12/12時点 水位 - 7 1 cm

①消波フロート固定用ブイの
アンカーブロックに注意！



②自由水域で座礁の危険性
[別紙資料参照]



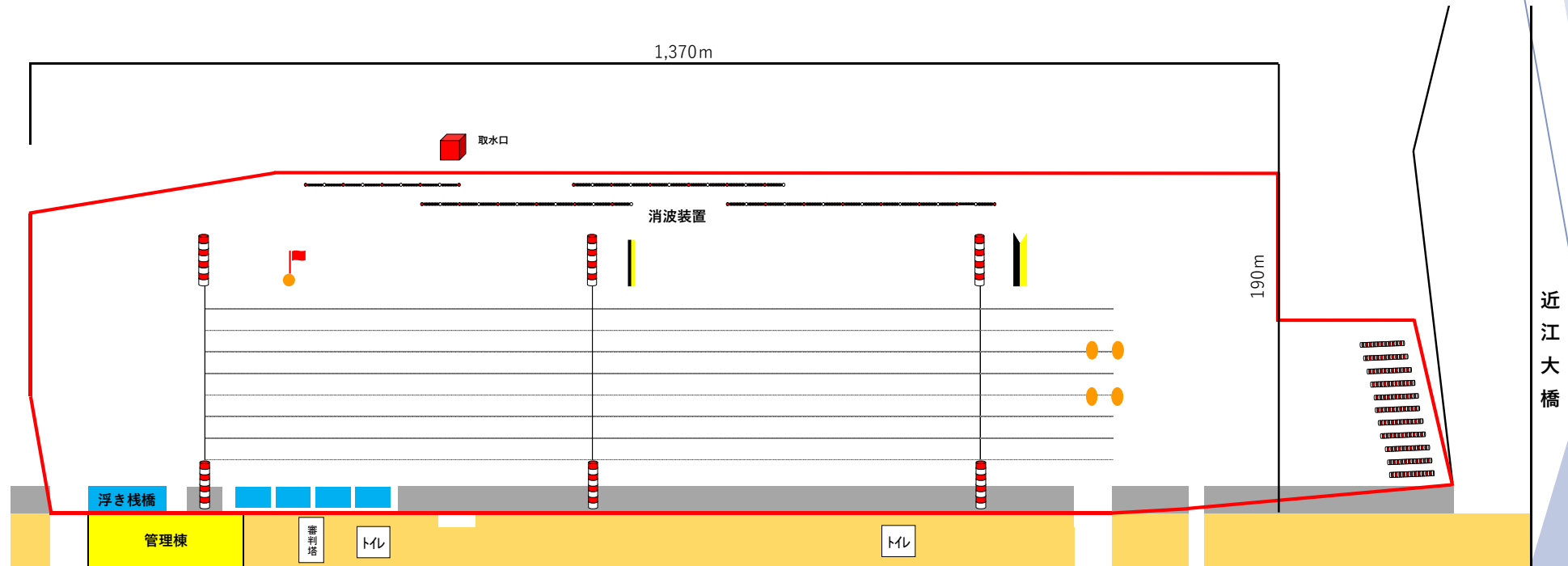
■今シーズンを振り返って

- 天候…まとまった雨量による全開放流日数の減
 - ① 荒天による大会中止 0件
 - ② 天候の急変による競技会への救助対応 0件
- 接触事故等の傾向
艇同士の接触事故の救助要請は0件
※ 消波フロートと自艇の間に挟まれて…
大会に無関係な艇の救助で非常に危険な場面もありました。



■ 琵琶湖漕艇場コース内や瀬田川における遵守事項

1 河川占用区域



■ 琵琶湖漕艇場コース内や瀬田川における遵守事項

2 出艇前の安全確認

(1) 出艇前の気象状況の確認

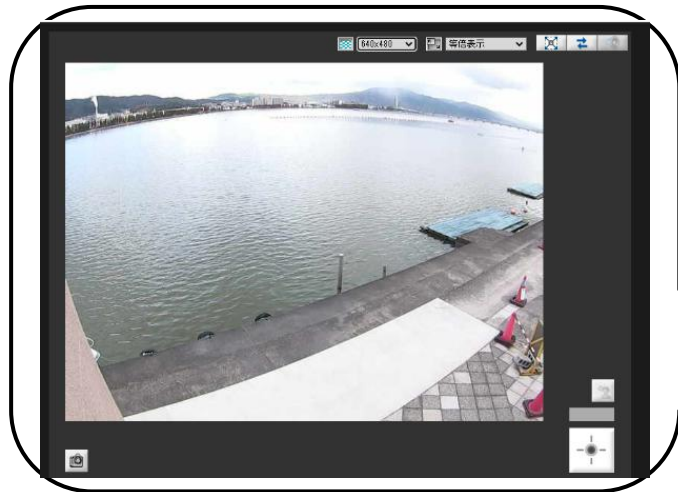
天気予報、風向風速、波、雷、空模様を確認する。

※突然の雷や突風、雨の対応については、各団体でのマニュアル作成が重要です。

☆漕艇場コース内の湖面状況はHPにアップしています。

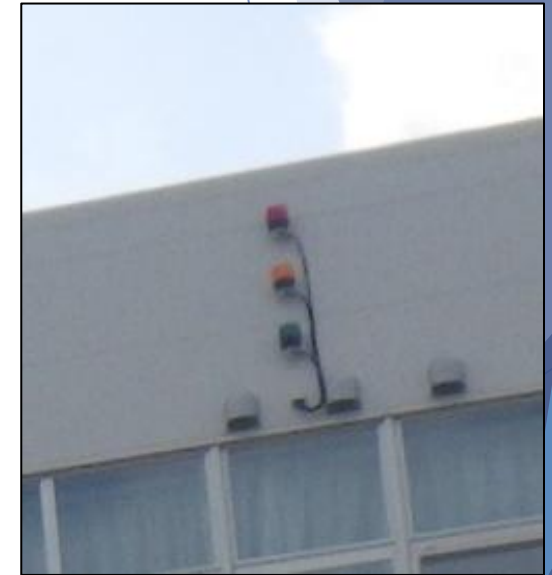
決勝線付近を映しています。

→風向（南風）によってはスタート地点が荒れている場合があります。



(2) 瀬田川放流量の確認 (現在)

- 全開放流 (600 t) 以上) の場合
「赤色警告灯の点滅」と~~「赤色の吹き流しを掲揚」~~
- 300 t 以上の場合
「黄色警告灯の点滅」と~~「黄色の吹き流しを掲揚」~~



(2) 瀬田川放流量の確認 (調整完了)

赤白ポール (スタート・ゴール) に信号灯を設置しました。



スタート方向



ゴール方向

(2) 瀬田川放流量の確認 (運用方法)

- 全開放流 (600 t) 以上の場合
 - 漕艇場管理棟壁面 「赤色警告灯の点滅」
 - 赤白ポール信号灯 「赤色灯の点灯」
- 300 t 以上の場合
 - 漕艇場管理棟壁面 「黄色警告灯の点滅」
 - 赤白ポール信号灯 「黄色灯の点灯」
- コース占有中の場合 (競技会開催時など)
 - 漕艇場管理棟壁面 「緑色警告灯の点滅」
 - 赤白ポール信号灯 「緑色灯の点灯」
- コース閉鎖中の場合 (コース設置・撤去作業など)
 - 赤白ポール信号灯 「赤色灯の点滅」

(2) 瀬田川放流量の確認

R7 瀬田川洗堰200t放流・全開放流日数

月	開始日	終了日	日数	放流量
5月	5月15日	5月21日	7	250
	5月31日	6月11日	12	250
6月	6月11日	6月15日	5	全開
	6月16日	6月18日	3	250
	6月25日	6月29日	5	250
			250t↑	27
			600t↑	5

R6 瀬田川洗堰200t放流・全開放流日数

月	開始日	終了日	日数	放流量
4月	4月4日	4月5日	2	200
	4月7日	4月9日	3	220
	4月9日	4月12日	4	250
	4月17日	4月17日	1	200
	4月17日	4月21日	5	250
5月	5月27日	5月28日	2	200
	5月28日	5月29日	2	300
	5月29日	5月31日	3	全開
	5月31日	6月3日	4	300
6月	6月3日	6月5日	3	250
	6月17日	6月18日	2	250
	6月18日	6月24日	7	300
	6月24日	6月26日	3	全開
	6月28日	7月1日	4	300
7月	7月1日	7月6日	6	全開
	7月6日	7月7日	2	300
	7月16日	7月20日	5	全開
9月	9月1日	9月5日	5	250
			250t↑	48
			600t↑	17

(3) 琵琶湖漕艇場が発信する「お知らせメール」

ローイング・カヌーの関係団体（代表者）様あてには、河川工事などの関連情報や、緊急時、瀬田川放流量が300tを超えるなどした場合には「お知らせメール」を配信しています。

コースおよび瀬田川で練習する機会のある方は、各団体の代表アドレスを漕艇場にお知らせください（**代表者変更や配信停止については、漕艇場まで連絡をお願いします**）。

- ・琵琶湖漕艇場Eメールアドレス boat@bsn.or.jp
- ・南郷洗堰の放流量とびわ湖の水位の情報
→琵琶湖河川事務所ホームページ <http://www.biwakokasen.go.jp>

(4) 自分自身の健康状態

自覚症状のある場合は無理をしないことが大切です。

また、熱中症は自覚症状がない場合があるので、事前に水分補給や帽子をかぶるなど練習前から事故防止に努めてください。

(5) 救命浮輪の装備・ライフジャケットの着用

初心者ならびに伴走のいないクルーは、ライフジャケット等を着用し個人で安全確保に努めてください。また、冬季や夜間の航行では、蛍光色など判別しやすいウェアの着用が有効です。

3 コースルール・マナーについて

(1) コースルール

順行…スタートからゴール方向に漕ぐこと **逆行**…ゴールからスタート方向に漕ぐこと

※回漕レーン（赤白ポールから沖合50mまで）は「逆行」です。

⇒消波フロートおよび消波フロート設置のための赤白ブイに注意してください。

※0レーンは初心者専用レーンです。回漕レーンではありませんので注意してください。

①通年ルール（平常時・夏季混雑時ルールは廃止）

2024年12月5日から試行 → 2026年1月から本採用

1～3レーン：ローイング専用で順行 4～6レーン：カヌー専用で順行

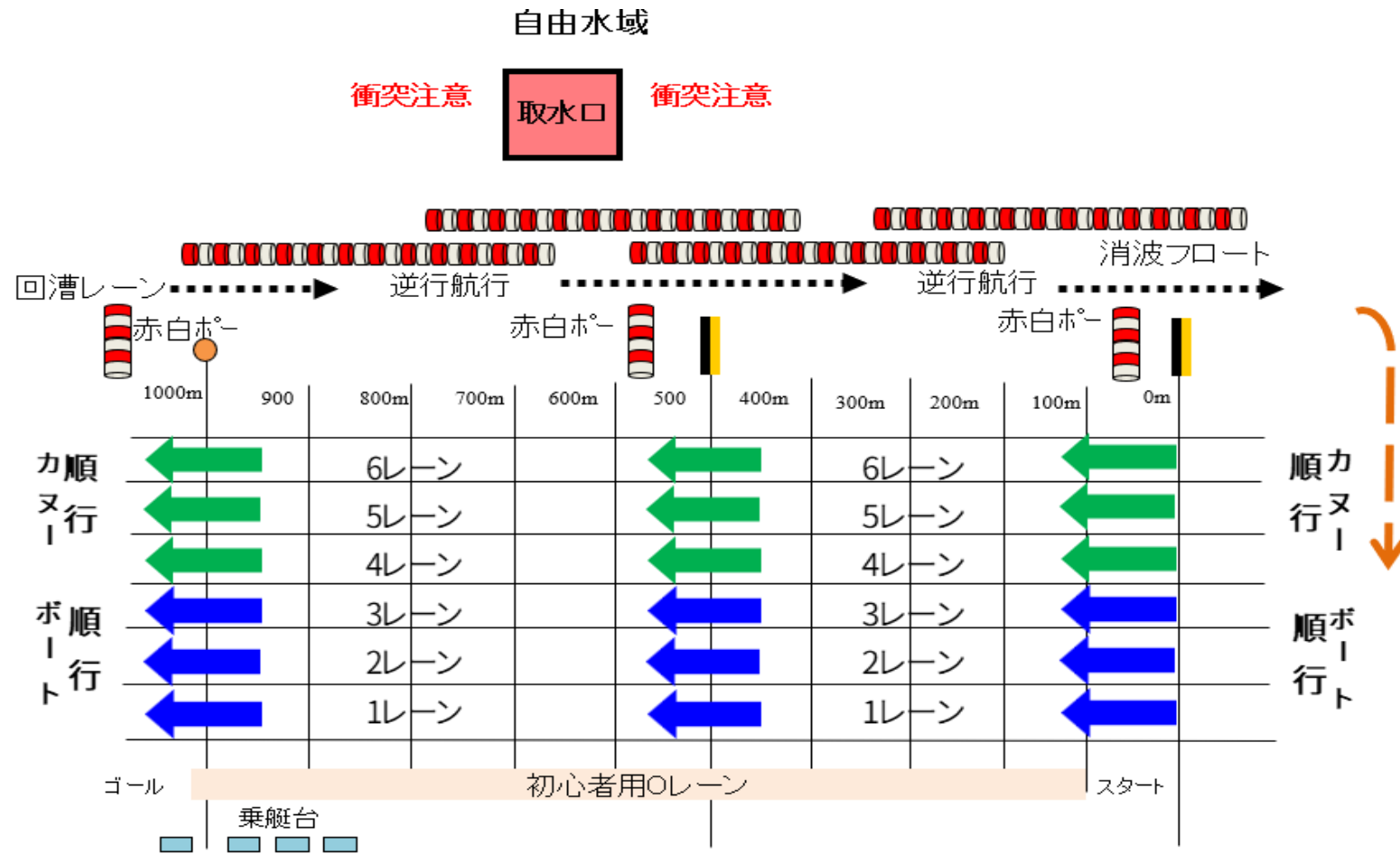
②コースブイ、ステッキボートが入っているとき

全レーン順行

※ブイの設置・撤去作業中はコース内では練習できません。放送等で注意はしますが、大会の前日は十分注意するようにしてください。コース内に、レース用のブイまたはステッキボートが入ればコース内は全て**順行**になります。設置状況を十分確認し、他の艇の動きを確認して練習してください。

3 コースルール・マナーについて

①通年ルール



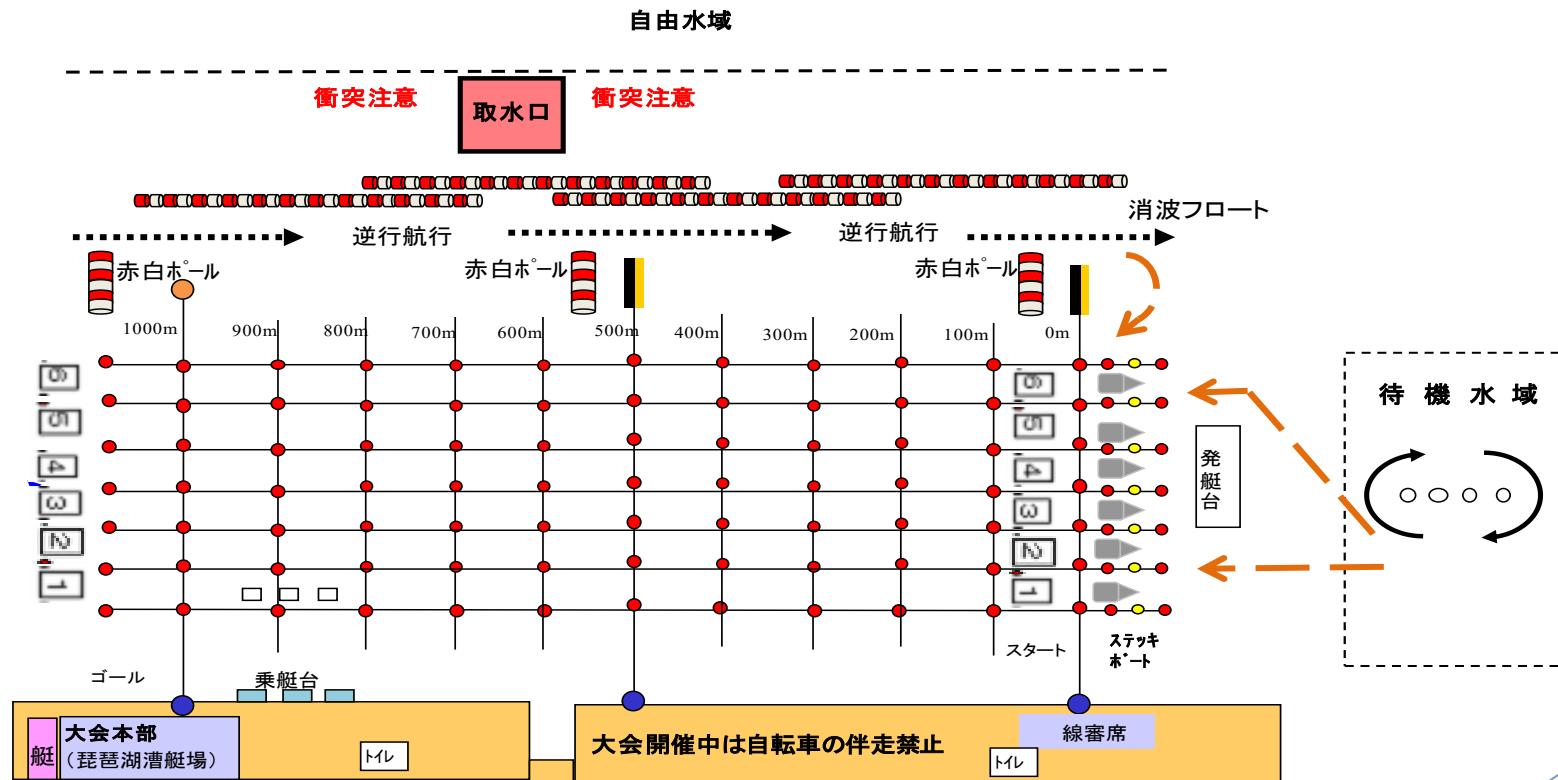
3 コースルール・マナーについて

②コースバイ、ステッキボートが入っている時（主催者が定めるルールに従う）

大会開催時「緑色警告灯の点灯」と「赤白ポール信号灯の点灯」

※コース占有になるため、練習はできません。

琵琶湖漕艇場コース航行図(全レーン順行)



3 コースルール・マナーについて

④改修後のコースで気をつけていただきたいこと

■コース内の転回場所について

・スタート地点での転回場所

赤白ポール・黄黒ポール・四角形に並んだオレンジブイを越えてから
(休憩は上記ポイントを越え、他艇の進路の妨げにならない場所で行う)

・500m地点での転回場所

順行中：赤白ポールを越えてから
逆行中：黄黒ポールを越えてから

・ゴール地点での転回場所

赤白ポールを越えてから
(休憩は赤白ポールから更に南下し、他艇の進路の妨げにならない場所で行う)

※注意事項

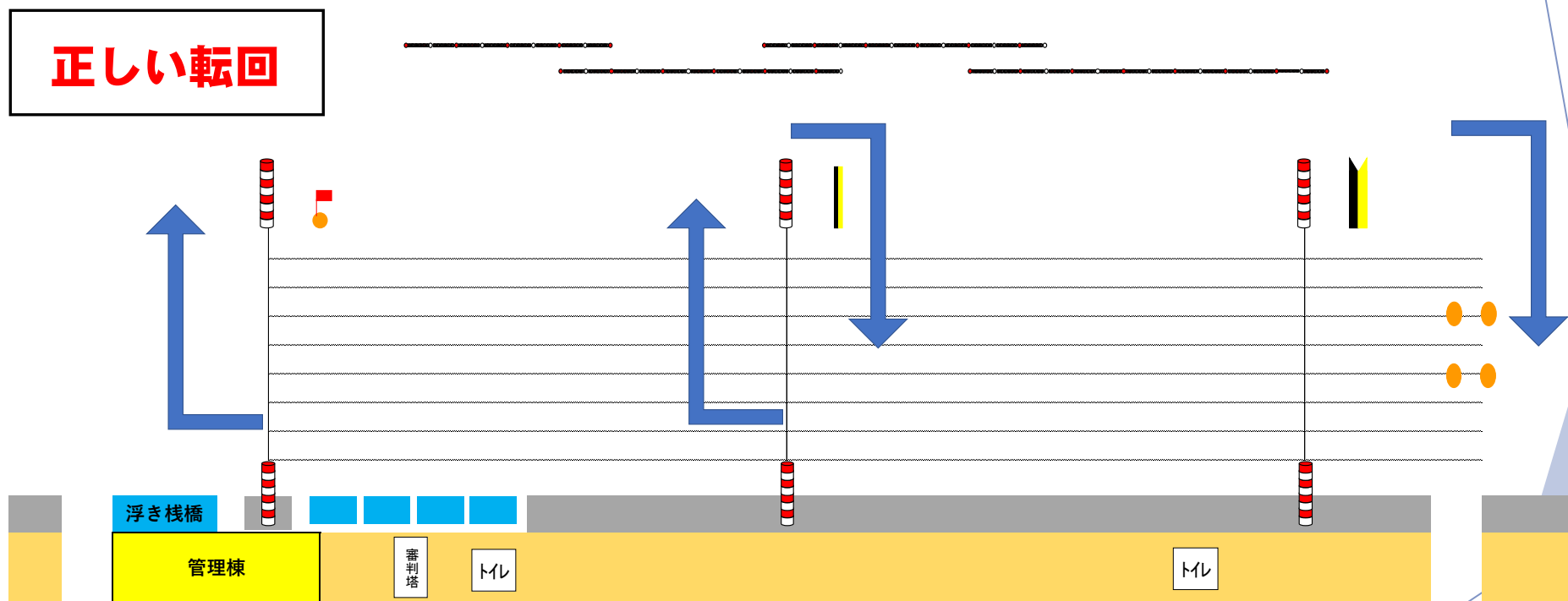
転回はコの字を描く様に直角に転回してください。

転回後は休憩しないでクルーはすぐにスタートしてください。

また、混み合っている回漕レーンでの並べはご遠慮ください。

3 コースルール・マナーについて

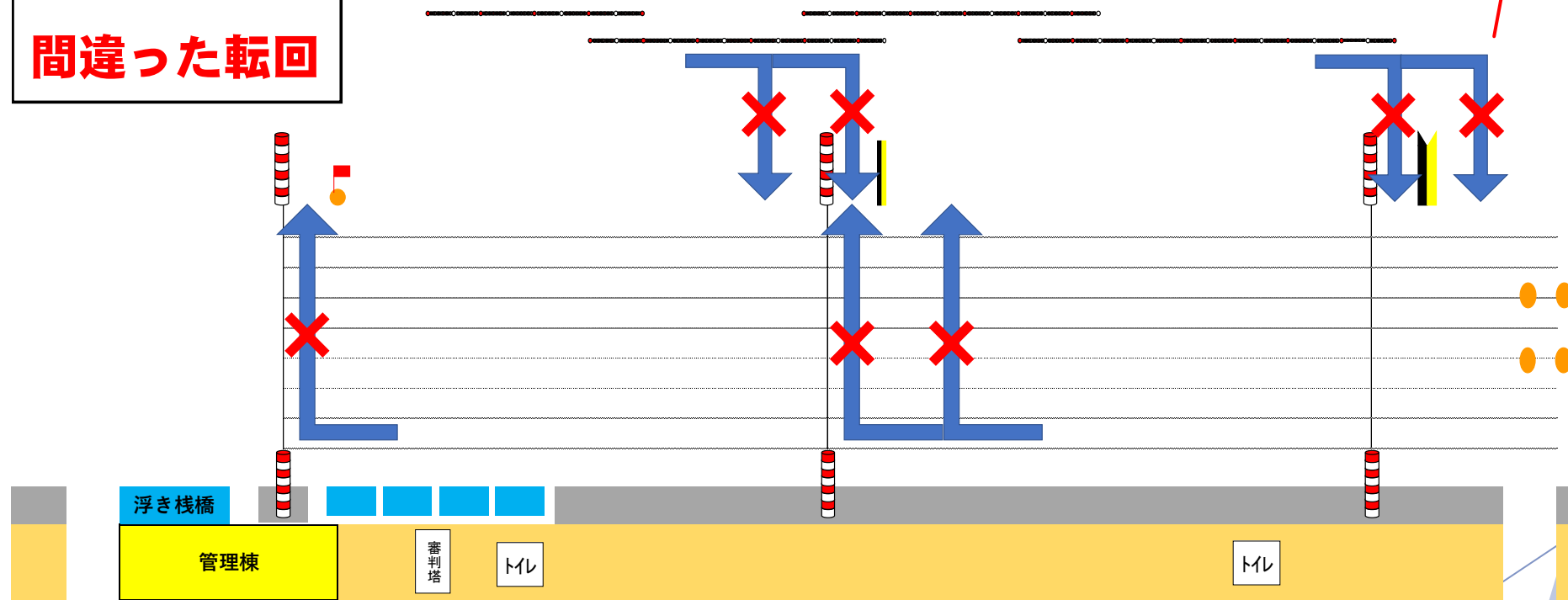
④改修後のコースで気をつけていただきたいこと



3 コースルール・マナーについて

④改修後のコースで気をつけていただきたいこと

間違った転回



ヒヤリ・ハット
事例 多い

3 コースルール・マナーについて

■ 練習時における注意事項

漕艇場コース内で練習する時には、【漕艇場および瀬田川での共通ルール】を遵守し、下記の事項に留意して事故防止に努めてください。

- ①各団体において、「乗艇をする・しない」の判断基準を定めておく。
- ②コースコンディションに応じて、速やかに「乗艇を中断する」ための判断基準を定めておく。
- ③艇の進行方向ならびに周囲には、常に気を配り事故防止に努める。
- ④非常時に備え、必ず、すぐに連絡ができるような体制を整備し、携帯には「代表者・艇庫・漕艇場等の連絡先」を登録し、各団体で緊急時の連絡体制を整えておく。
また、単独練習を避け、伴走などをつける。
- ⑤コース内・瀬田川流域において操業中の漁船等を発見したときは、必ずそのレーンを十分に確認して接触事故等のないよう注意する。特に、舵手のいない艇は進行方向に十分注意する。万一、トラブルが発生したときは、お互いに名前・連絡先等の情報を交換し、良好な関係の中で事後処理にあたる。
- ⑥コース内・瀬田川流域で万一事故が発生したときは、協会様式のアクシデントレポートを提出するとともに、漕艇場にも事故報告をする（事故再発防止のため情報を共有するため）。
- ⑦瀬田川では右側航行を順守する。
- ⑧日没後・夜明け前の練習は、特に衝突事故の発生率が高いため、練習する場合は必ず艇首・艇尾に視認性の良いライトを点灯する。

3 コースルール・マナーについて

■練習時における注意事項

- ⑨瀬田川洗堰の放流量300t以上の場合は、石山寺港乗船場より下流へは下らない。
全開放流（600t以上）の場合は、瀬田川での練習は、自粛する。
※平成24年3月17日漕艇場主催の安全対策会議にて確認
→「大会運営・安全に関する確認事項」

4 救助について

琵琶湖漕艇場では、施設開場時はモーターボートでの救助体制を整えていますが、単独での練習は避け、必ず伴走者をつけてください。

緊急時や艇が沈没（沈）した場合、連絡者（要請者）は、団体名、沈した場所、艇の種類、状況等をお知らせください。

なお、原則として救助艇の出発に間に合うようでしたら、同乗をお願いします。（漕艇場でライフジャケットを用意しています）

低体温症への備え … 艇庫に緊急用の温水シャワー設置済み

4 救助実績

2025年度 52件(2月末まで) ※別紙資料を参照ください

2025年度 救助出動実績

令和7年12月12日

月	区分	件数	艇種	原因	場所	消波フロート	月毎件数	放流量
4月	中学	1	1×	バランス崩し自沈	コースゴール付近	有		30
	大学	1	1×	消波フロートに衝突し沈	コース900m付近回漕レーン	有		30
	高校	1	1×	ローロックが外れて沈	国道から唐橋の間	有		30
	高校	1	2×	バランス崩し自沈	BRD前	有	4	30
5月	大学	1	1×	バランス崩し自沈	コースゴール付近	有		50
	大学	1	1×	ピン外れ	JR高架下	有		50
	一般	1	レジャーカヌー	消波フロートに接触し沈	250m地点自由水域	有		50
	大学	1	4×+	波で艇浸水沈	水管橋付近	有		50
	中学	1	1×	バランス崩し自沈	回漕レーンゴール付近	有		120
	中学	1	1×	バックロー練習中バランス崩し自沈	コーススタート付近	有		50
	一般	1	2×	ピン外れ	コースゴール付近	有		130
	高校	1	1×	バランス崩し自沈	コーススタート付近	有		130
	高校	1	1×	ハラキリ沈	水管橋下	有	9	250
6月	高校	1	1×	ピン外れ	水管橋下	有		250
	高校	1	1×	バランス崩し自沈	御殿浜沖	有		250
	中学	1	1×	バランス崩し自沈	コース内	有		250
	中学	1	1×	バランス崩し自沈	水管橋下	有		250
	中学	1	2×	バランス崩し自沈	漕艇場棧橋下	有	5	50
	中学	1	1×	バランス崩し自沈	コース内	有		15

4 救助実績

2025年度 52件 (別紙資料を参照ください)

No	原因	件数
A	自沈 (バランス他)	37
B	自沈 (オール外れ)	4
C	横波浸水	1
D	艇破損浸水	0
E	消波フロート接触	4
F	岸接触	0
G	取水口接触	0
H	その他	6
		52

5 瀬田川における危険箇所について

①水管橋およびJ R鉄橋付近

橋脚の幅が狭くなっています。水管橋・J R鉄橋の橋脚幅がそれぞれ違いますので瀬田川へ下る際は十分注意してください。

②唐橋付近

中之島および旧あみ定の所にあみ船が数多く停泊しています。右側航行ですので十分注意をしてください。橋脚幅が狭いので、京大艇庫付近が死角となります。

③石山寺付近

川幅が急に狭くなりカーブをしていますので危険です。絶対にショートカットはしないでください。衝突事故の原因ともなります。

④京滋バイパス・膳所自動車教習所付近

橋脚に注意することはもちろん、流量計の鉄塔が建っていますので前方の注意を怠らないでください。

⑤南郷洗堰付近

航行禁止区域の表示板およびワイヤーがあります。発電所付近にさしかかったら十分注意してください。また、発電所の水門には絶対近づかないでください。

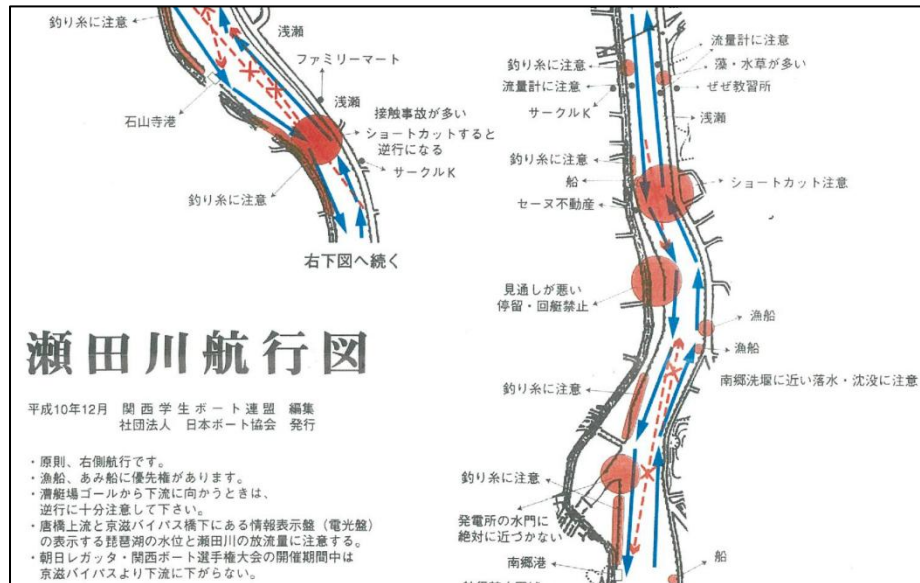
5 瀬田川における危険箇所について

⑥瀬田町の漁港付近

漁船の運航の妨げにならないよう、漁港の入口周辺では特にご注意ください。

なお、琵琶湖および瀬田川洗堰より上流の瀬田川については、条例や規則に則って、動力船や無動力船（ローイング・カヌーを含む）を操船しなければなりません。

基本、動力船は動力船以外の船舶の進路を避けなければなりません。大型船舶や土砂運搬船、漁業に従事している船舶などが航行しているときは「これらの船舶に近づかないように」とされています。改めてご注意ください。



【瀬田川航行図】

H10年12月 関西学生ボート連盟
社団法人 日本ボート協会

編集
発行

6 その他

(1) 駐車場について

漕艇場の再整備後、審判塔北側のスペースが拡大。

競技会の艇置き場・駐車場に利用いただけます。

☆唐橋グラウンドを使用される場合は、早めに連絡を取ってください。

(2) 漕艇場コース沿いの大津市公園緑地の伴走について

コース沿いの公園が整備され、多くの方が散歩、ジョギングをされています。

自転車の伴走については、歩行者を優先とし、安全な走行を心がけてください。

自転車で伴走しながらの以下の行為は危険です！

①携帯電話による動画の撮影

②メガホン等を使用した走行中のコース内への指示

→それらの場合には必ず停止してください。

(3) 瀬田川での工事について

工事にかかる周知の依頼があった場合は、速やかに「お知らせメール」を発信します。

しかし、全ての情報が寄せられるわけではありませんので、練習されるクルーが各自でご注意ください。

6 その他

(4) 近隣住民の方に対する配慮

①県道599号線の渋滞緩和と事故防止（横断歩道を渡りましょう）

②騒音について

R7年度は苦情無し → 引き続き、住民への配慮が必要です。

○大会開催時のスピーカー設置の際は慎重に（漕艇場へ相談ください）

○琵琶湖・瀬田川での指導助言時の音量（特に早朝）

(5) 令和8年度の利用に関して

◎漕艇場一般利用申込は、令和8年2月14日（土）から受付開始。

◎琵琶湖漕艇場主催「安全対策会議」は、令和8年3月7日（土）に開催。



これからもより安全な水域を目指して

共に取り組んでいきましょう！

